

# 大谷大学広報

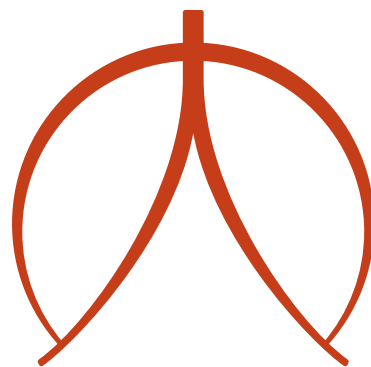
編集 大谷大学広報編集委員会

## No.155

2003年11月4日

2003

# 秋



## 冬扇

コンピュータ上でチベット文字を表示する？そんな商売にもならないことを誰がやってくれるのか、できたとしても素人にはとても使えない難解なソフトになってしまうのではないかと。チベット研究者はパソコンでチベット文字を扱うことなど端から期待せず、チベット文字をローマ字に直して入力してきた。日本語が複雑だから全部ローマ字表示ですませようと言っても誰も見向きもしないだろ

う。しかしチベット学者はタイプライターの時代からずっとチベット文字をローマ字書きしてきたのだ。

その夢物語を実現するプロジェクトに本学真宗総合研究所チベット研究班が取り組んで10年程になる。すでに多国語処理に優れたパソコンMacintosh上でチベット文字を入力・表示できるシステムを世界に向けて無償で公開している。クリック数回でインストールでき、10分もあればキー入力も覚

えてしまえるくらい使いやすい。画面上に表示されるチベット文字を見ていると、もはやローマ字書きのチベット語に戻る気には全くならない。

このようなメーカーの見向きもしないものを作れたのは、学問へ貢献するために手弁当で開発に参加してきた多くの人のたちの努力があったからこそである。チベット文字を使う人に喜んでもらえること、それだけが彼らの励みである。

(福田 洋一)

# 京都 文学・歴史散歩道

京都には1200年の歴史がある。この長い歴史の中で、いくつもの物語が繰り返されてきた。非業の死を遂げた権力者の怨念を鎮めるために神社が、そして輪廻から脱出する修行の場として寺院が建てられた。京都のみならず世界中の宗教的建築物の建立地には共通点がある。それは、神聖で非日常的な空間を作り出しているという点である。ヴァイオリンの弦のようにピンと張りつめた空気、鳥肌の立つような磁気を帯びた空間を持つ境内に一步足を踏み入ると、人間本来の感性が取り戻され、インスピレーションを得ることができる。京都にはそういう空間があるからこそ、多くの文学作品が生まれてくるのである。あなたも未知なる京都の探索に出かけてみては？



## 物語から見る京都の再発見

山本 親子

京都には歴史があり、昔から多くの和歌や物語の舞台として京都が書かれているということは、誰もが知っていることではないだろうか。しかし、いざ京都のどこがどういった物語の舞台になっているのかと聞かれた場合に、答えることができる人はごくわずかであるだろう。私も答えられない人間の一人である。というのも私にとって京都というものが、観光目的で訪れるには近すぎる場所であり、普段の生活の中では名所に行く機会がないために、関わりが薄い存在になってしまっているからである。名前だけは知っているが、行ったことのない名所がほとんどというぐらい、うわべだけの京都しか知らないのである。けれど、買い物といえば河原町というくら

いたびたび出かける街でもある。そういったことから、私にとって京都とは身近な存在であるにも関わらず、知らない街なのである。

そのような私の京都へのイメージを変えるきっかけを作ってくれたのが、川端康成の『古都』という小説である。

この小説の舞台ももちろん京都で、話の内容は祇園の町に生まれただけで捨てられた赤ん坊が、商家の一人娘として育ち、祇園祭の時に、自分とは全く違った人生を歩んでいる、生き別れた一卵性双生児の片割れに再会するというもので、話は京都の四季の風景や祭りや行事にそって進んでいく。また話の中には平安神宮や清水寺といった全国的にも有名な所や、私たちにもなじみある御池通りや

四条大橋も登場し、湯葉半という実在する店で湯葉を買う場面などがあったりする。全体の会話が京言葉で書かれているので、読みやすく話になじみやすいという印象を受けた。

そして、この物語の中で主人公の少女が平安神宮に花見や時代祭に行くという場面があり、平安神宮の説明が書いてあった。ここで私は初めて、平安神宮が桓武天皇を慕って明治時代に建てられたということを知ったのである。平安神宮には何度も行ったことがあったにも関わらず、名前だけで平安時代に建てられたものかと思いついていたのだ。この私の勘違いを数人の友達や先輩に話したところ、京都生まれの京都市民の子でさえ私と同じ勘違いをしてい

た。だからこそ逆に私たちの生活が深く京都と関わっているのだと思った。街を歩けばすぐ名所と呼ばれる所が見つけられ、至るところに過去への道しるべがあり歴史が感じられる。そういった環境が、私たちに京都を知っていると思わせているのではないだろうか。私は物語に書いてあるような京都の松の色や夕日を気にすることもなく過ごしていたが、物語を読んだ後では単純に影響を受けて、なんとなくいつもと違う気もしてくるのである。知っていたはずの場所ですら新しい発見をすることもあ

る。  
 このように自分が普段知っている場所が、物語にされていることによって今まで当たり前であると思っていた京都の姿を改めて見る

ということが出来る。傍に住んでいるからこそ気に留めない様な京都の美しさや歴史に、物語を読むことによって気づくこともあるのだ。そして文章にされた京都の美しさや歴史は今、京都にいるからこそ、自分の目で直接感じとることができるのである。文章では単に祇園祭のおはやしの音も「コンチキチ」と書かれているだけだが、私達にはその音も体で感じる事ができるのである。京都について書かれた本はたくさんある。せっかく京都にある大学に通っているのだから、物語からみる京都という、私たちにしかできない京都の再発見の仕方をしてみてはいかがだろうか。

（ やまもと ちかこ ）  
 国際文化学科 第1学年

## 温故知新 牛若丸と弁慶の像



赤尾 栄慶

現在の国道1号線五条大橋の西詰め、中央分離帯のところに妙にかわいい子供すがたの、牛若丸と弁慶が橋の上で戦っている。弁慶の長刀をかわして、ひらりと舞い上がり橋の欄干に乗っている牛若丸。像が在ることは、知っていることでしょう。これは、直接的には謡曲「橋弁慶」がもとになっていると思われませんが、念のため、そのあらすじを簡単に紹介しましょう（引用部分出典、日本古典全書『謡曲集』下）。

比叡山西塔の武蔵坊弁慶が宿願

により、北野天神へ丑刻詣でに出かけようとしたところ、従者から五条の橋に小太刀を持って斬り回る「年のほど十二三なる幼き者」、その身のこなしは「さながら蝶鳥のごとくにて候ひつる」。少年が出没していると告げられたことから、弁慶はその少年を討ち懲らしめようとして五条の橋に向かったのです。その出で立ちは、「光かかやく月かげに、着たる鎧は黒革の、おどしに威せる大よろひ、草摺長にきなしつつ、本より好む大長刀、まん中とつて打ちかづき、

## C O N T E N T S

- p. 2...京都 文学・歴史散歩道
- p. 8...CAMPUS-TOPICS
- p.15...事務窓口ホームページ化への取り組み～「パソコンに関するアンケート」集計結果報告～
- p.16...国際交流トピックス
- p.21...学問のしおり
- p.22...2003大谷大学紫明祭
- p.24...Keiji-Ban
- p.27...学生相談室から
- p.28...谷大エリア散策
- p.29...出版物紹介
- p.30...研究室だより / 学会だより
- p.31...大谷中学校・高等学校九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.32...SQUARE

## 表紙のことば

「おいしいよー！おひとついかがですかー！」  
 「それ買うてあげるし、うちのも買うて～！」

大きな声を張り上げるひとりひとりのパワーが学園祭を盛り上げていく。

（あっ！あの人も授業同じ人だ！）  
 「すいませ～ん！」

- 学園祭 -  
 それは、一步を踏み出した人に起こるドラマの連続！！

## 冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたためことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

ゆらりゝゝと出でたる粧」の弁慶でありましたが、「手もとをいかでもらすべきと、長刀、柄長くおつとりのべて、はしりかかつてちやうとうては、背けて右に飛びちがふ、取直してすそをなぎ払へば、躍りあがつて足をためず。ちうを払へばかうべを地につけ、千千に戦ふ大長刀、うちおとされて力なく、くまんとすれば切りはらふ」牛若丸にすっかり翻弄されてしまい、ついには主従の縁を結び、弁慶が牛若丸の家来になるという有名なストーリーです。

だから、五条大橋のところに牛若丸と弁慶の像が在るというわけですが、これで一件落着というわけにはいきません。なぜなら、現在の五条大橋は、豊臣秀吉が方広寺大仏殿を造営するに際して天正17年（1589）に今の場所に移したものであり、それ以前は今の松原橋の位置にあったのですから。と

すれば、牛若丸と弁慶が橋の上で出会ったとしても今の五条大橋の上ではないわけです。本当に誤解を招くような話です。

ここまでは、比較的よく知られた話かも知れませんが、秀吉が造らせた五条大橋の初代の橋脚と橋桁、すなわち天正17年に架けられた橋脚と橋桁を見ることができるといことは、余り知られていないようです。それは、東山七条、三十三間堂の向かいにある京都国立博物館の西の庭園に野外展示されており、立体的に組まれた橋脚と橋桁は往時のすがたを彷彿とさせるものがあります。また、その橋脚には「津国御影<天正拾七年/五月吉日>」という文字が刻まれており、撰津国御影、現在の神戸市東灘区御影 背後の六甲山麓から採取される花崗岩、すなわち御影石の産地として有名 から運ばれたことがわかります。更

に同年の七月付の三条大橋の橋脚も見ることができます。これらは、いずれも京都の市中と郊外の風景や民衆を描いたことで知られている「洛中洛外図」の「舟木本」（重文、東京国立博物館蔵）にも描かれているものです。

因みにその牛若丸と弁慶の像は、御所人形作家として知られた岡本庄三という人が昭和36年（1961）に作ったものです。だから、あんなにかわいい姿をしているというわけです。

（あかお えいけい）  
（本学非常勤講師）



## 親鸞の精神

Michael Conway

アメリカの歴史は、先住民の歴史を除けばの話だが、日本の歴史と比べて非常に短い。私の出身地シカゴは、200年前にはアメリカ先住民も住まなかった湿地であり、最古の建物は150年前に建てられたビルである。それに対して、1200年間文化と政治の中心地であった京都の雰囲気は独特であり、永くて深い歴史が感じられるはずだ。しかし、正直に言えば、若い自分にとってそれは、はっきりと意識できなかった。

シカゴで親鸞聖人と清沢満之師の教えと生涯を少し勉強した。そして京都に来た目的のひとつは、その先生達が生きた世界を味わうことであった。大谷大学の授業でも親鸞聖人の生活について、様々なことを習ったが、響流館の2階の窓からマクドナルドとラーメン一番の上に比叡山を見ても、親鸞が実際にあそこに住んでいたという事実を信じるができなかった。近代化された京都に親鸞聖人の跡はなかなか見つけ

られなかった。

烏丸三条近くの六角堂に行った。銀行や金融機関などの高くて新しいビルの中に挟まれて、感じられるのは自分と親鸞との隔たりのみであった。親鸞が深い絶望の中に100日間を過ごした六角堂と、私が観光客の視点から見た六角堂は全く違う場所であると思う。外面は800年間に当然に変わってきた上に、自分の内面と聖人の当時の内面は甚だ違っているし、遙かかけ離れているだろう。到底そ



ここでは親鸞の精神に接することはできなかつた。

そこで、現代の人物が生きた京都を味わってみようと考えた。哲学者として有名な西田幾多郎は自分にとって興味深い人でもあったので、京大の東、銀閣寺の傍らにある哲学の道を散歩しに友達と一緒に出かけた。西田はその辺をぶらぶらと歩きながら思索していたということを事前に聞いていたので、私も自覚や絶対他者という概念を持ちながら散歩することにした。

たまたま、法然院というお寺を訪ねた。自然に会話の内容は親鸞聖人と法然上人との関係になった。親鸞がどのように法然を見ていたかということや、浄土宗と浄土真宗の根本的違いということ等を気軽に話題にしなが、永観堂の門まで歩いた。

その寺で後ろをふり返っている阿弥陀仏像を見た。どういう意味を表しているか分からなかったけれど、非常に面白いイメージであり、それに喚起されて曾我量深の若いころの言葉が頭に浮かんでき

た。仏道を求める時、いつも前に向かって想像した阿弥陀とか浄土とか救い等を探しているが、実際に現実の阿弥陀仏はあなたの後ろにいと、曾我先生は言われた。何か見つけようとする、見つけようとするが故に、その何かを見つけれなくなるという事実。それをこの言葉が指し示している。西田哲学の概念のことは完全に忘れていたが、この散歩から習うべきものには触れ得たのではないだろうか。

予定していた哲学の道の散歩を終え、南禅寺に至った。そこで友達と、親鸞聖人が法然と一緒に学んでいた時代に住んでいた場所に行かないかと言うのを聞いて、本当に驚いた。吉水という場所は地図になかったし、800年もの月日経っていたので、正確な位置はもう分からないだろうと思っていたからである。

岡崎別院に連れて行かれた。そこには石で囲まれた小さい池がある。流罪の判決後、親鸞はこの池の水に顔を映し、深い嘆きのため息をついて、越後へ出発したと伝

えられている。これまで親鸞の内面世界に入れなかつたのに、その話を聞いた時、聖人が本当に永い間愛した、その土地の上に立っているのだと心の底から感動した。晩年に親鸞が関東から京都へ戻って来た時にも、そこに住んだと伝えられている。神秘的な言い方になるけれども、その土地に聖人のエネルギーというか気というものが残っていると強く感じられた。

結局、私が探し求めていた経験は、全く見つけられないと諦めた時に、自然に現れてきた。この散歩から、改めて、曾我先生の阿弥陀は自分の後ろにいとという真理に目覚めた。自分の力では、自分の計らいは、無限なる真理を造ることができない。その計らいを諦める時だけ真理に触れることができるのである。勿論、自分が岡崎別院で感じたことと真理そのものの本質とは違うだろうが、私は次の散歩を楽しみにしている。

( マイケル コンウェイ )  
修士課程 真宗学専攻 第1学年

## 京都は魔界都市にあらず

森 一真



京都は、歴史豊かな土地柄であり、下宿生の中には、憧れをもって入学した方も少なくないと思う。だが、実際に住んでみるとよくわかるが、夏は住みにくい所である。なぜなら山に囲まれた盆地であり、風が抜けないため、夏の気候は、まさに地獄の様である。

また平安時代においては、魑魅魍魎ちみきりょうがはびこる魔界都市だといわれていた。

しかし、風水的にみると、京都は四神相応に応じた、都として最良の土地柄である。四神とは、東の青龍、西の白虎、南は朱雀、北の玄武というふう配して地形に

あてはめ、そして東に川、西に大道、南に湖、北に山のある地を、四神相応の地という。これに京都をあてはめると、東に鴨川が流れ、西に山陰道、南は巨椋池、北は船岡山であるといわれている。

そもそも、なぜ桓武天皇はこのような土地柄を選び、遷都したの

だろうか。「氣」の力をもってして、都を守ろうとしたのには理由があると思われる。平安時代という、『今昔物語集』にも出てくるように、魍魎魍魎がはびこっていた時代である。人為的なものではなく、これら奇怪な存在を恐れていたのであろう。

では、なぜこの時代には、奇怪な存在や、現象が多くみられたのだろうか。私が思うに、もともと、人類がここまで生きてこれたのは、「創造性」と「破壊」という、他の生物がもっていないこの二つのおかげではなからうか。陸では肉食獣に勝てず、空も飛べず、海では魚のように速く泳げず、呼吸もできない。常に創造性をもって、未知なるものを破壊してきたために、ここまで種を存続し得たといえよう。現代でいえば、「破壊」とは科学に直結しないだろうか。

平安時代の人々は、我々のように科学を基盤とした思考形式ではなく、宗教を基本とした、思考形式だったのではないか。この思考形式の違いが、魍魎魍魎をみせるのかもしれない。普段、我々は理性をもって脳を働かせているが、その制御装置のようなものが外れることによって魍魎魍魎のような存在が確認できたという話を聞いたことがある。修験者の断食修行がそれである。普段、我々は科学的な思考に基づいているため、平安時代の人々を恐怖におとし入れた存在は、現世では生きる術がないのだろう。逆に、昔の人々は、そのような存在と共に生きていかねばならなかったと思われる。恐ろしいものを見てしまう自分自身を、彼らが一体どう感じていたのかはわからない。

そもそも、私たちが恐怖におと

しいれる存在を、それと自認するには想像することが必要ではないか。想像とは普遍的な認知からくるといえよう。建築物などを見ても、この世のものとは思えないものはまずない。この世のものは、認知のかけ合わせによる想像が具現化したものではないだろうか。そう考えると、平安時代の人々は、宗教、風水などを我々でいう科学とし、魍魎魍魎と共存していたのだろう。

我々は、このような存在を、恐怖、悪などといった負の見方をするが、平安の世の人々にしてみれば、ある意味では当然のことであり、京都はなんら魔界都市などではない。我々が、我々の命を脅かすかもしれない存在である車と、共存しているのと同じといえよう。

（ もり かずま  
社会学科 第3学年 ）



## 京都文学散歩 『鉄輪』の女が辿った道・・・貴船

荒井 とみよ

上賀茂桜井町に部屋を借りていたことがあった。その部屋に決めたのは5月のことだったが、折も折、植物園の深い木立の中からホトギスの声が聞こえて、わたしを招いてくれているようだったからだ。大学への朝の道が一番のお気に入りだった。四季折々の賀茂川の風景はこれから先も忘れないだろう。川畔から眺めると、樹木も風も空も山も自身の値打ちを自覚しているようだ。美しい人が外部からの賛美のまなざしを受けていよいよ美しくなるように、この

風景は人々の憧憬を長い年月吸い取って洗練されてきた。わたしが親しんできた謡曲でもこの川はよく謡われる。

謡曲『鉄輪』をめぐる、わたしの好きな散歩道を紹介しよう。

賀茂川をさらに奥に遡ると、貴船川の流れに至る。もちろん今は歩いてではなく叡山電鉄、出町柳から乗って貴船口で下車。この電車は懐古趣味の人には心地よい、ちょっとした遠出気分を味わえる。夏もいいが冬もいい。貴船川に沿って山道をたどると行き着い

たところが貴船神社である。

『鉄輪』では貴船神社の神官が出てきて、丑の刻参りをする女がいるらしいと告げる。前シテの女の面は泥眼、この眼は女の妄執を表わしている。夫が新しい妻を迎えて自分が捨てられたことを恨む。糺の森を過ぎ、市原野辺を分けて鞍馬川を越えて、狂気を発した女はさまよい上ってきた。電車のない時代である。女は「鬼」になりたいと言うのだ。

後シテは鬼となって登場。赤い衣で顔には丹を塗り頭には鉄輪を

戴き三つの足に火を灯すという凄みを帯びた姿である。一方夫も夢見が悪いので、当時有名であった陰陽師・安倍晴明に占ってもらうと今夜にも命は窮まっていると出る。とても自分の調法では叶わない、女の妄執があまりに深いと尻込みする晴明、そこを強引に頼み、指示通りに供物をととのえ三重の高棚に五色の幣を用意する。陰陽師が祈りを始めるや、雷、稲妻しきりに起こり、御幣も鳴動、「身の毛よだちておそろしや」と舞台は異様を極める。

この鬼神は謡う、われは「恋の身の浮かむ事なき加茂川に」沈む青い鬼、「貴船の川瀬の萤火」であると。そして寝ている男の枕に寄り、「御身と契りしその時は」「変はらじとこそ思ひしになどしも捨ては果て給ふらん。あら。恨めしや」と打つ。何と切ない鬼で

あろうか。しかし鬼は調伏されて消えてゆく。男本位のこのドラマが人気曲なのはなぜか。

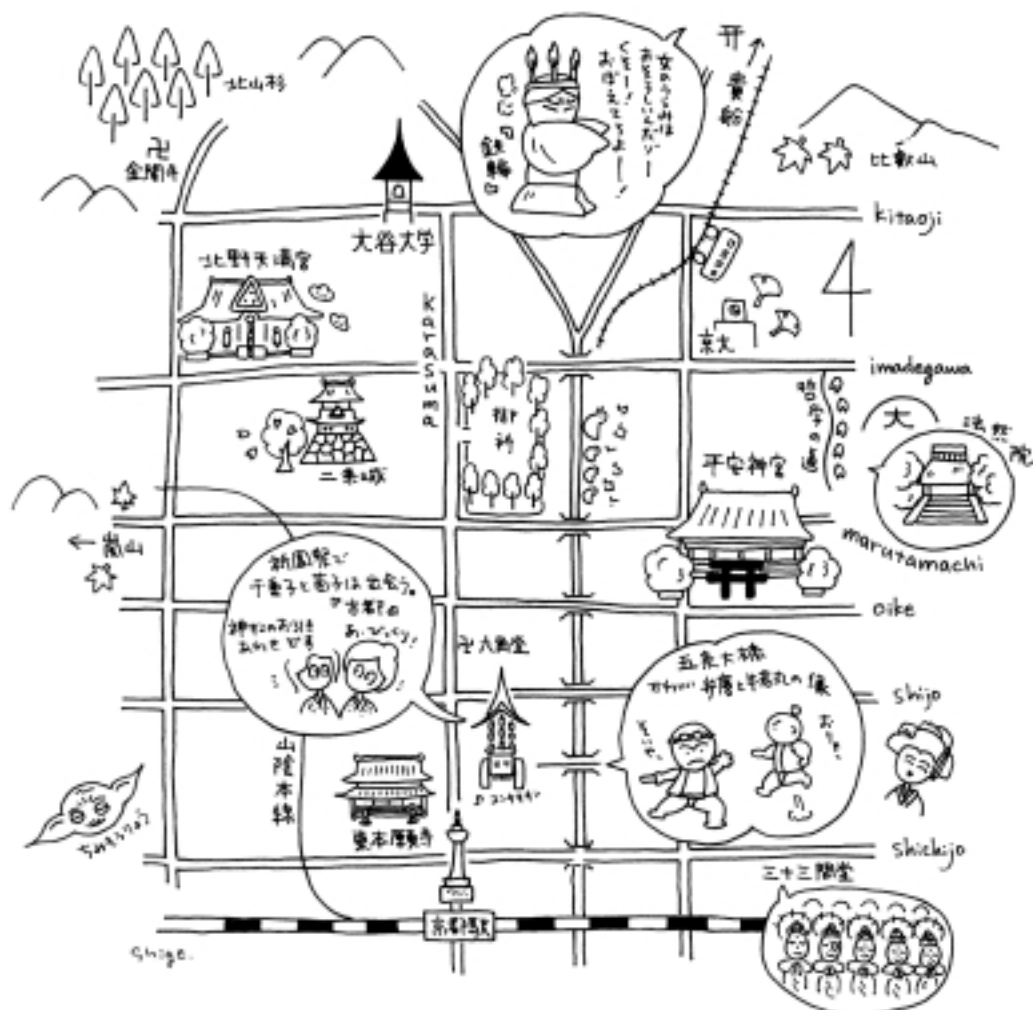
さて、この女が「我は貴船の川瀬の萤火」と謡うのは、後拾遺集に採られた和泉式部の和歌を踏まえている。詞書に「男に忘れられて侍りける頃、貴船に参りて、御手洗川に螢の飛び侍りけるを見て詠める」とあり、「物思へば沢の螢はわが身よりあくがれいづる魂かとぞ見る」。この歌の碑を実はこの川辺で見ることができる。「恋の女」といわれた和泉式部さえ、男に忘れられた悩みを貴船神社に詣でて訴えた。後の名もない女たちも嫉妬に狂う心を抱いて駆け上った、いわば恋を嘆く女の道だ。「後妻(うわなり)」といわれ、悪鬼とされる女たちであるが、思いを込めて通った道は一木一草にも悲憤の涙が籠もっているよう

で、わたしは厳粛な気持にとられる。

嫉妬、特に女の嫉妬を悪徳とみなしたのは、時代も随分下ってからであって、本来女は嫉妬するもの、そうさせるのは男の魅力であった。少なくとも文学の世界ではそうである。それは恋を活気づけた。だから男は畏怖し、宥めるために努力し奔走したのであり、また癒しを求めて女が詣でる地は神社となる。長谷寺や貴船神社はいわばそのような場であった。

男女の自由な交流が却って恋の神秘性を減じ、恋に対する畏敬の念を失わせるとしたら、果たして幸福なことだろうか、貴船への道しるべにはそのような問題が立てられる。

( あらい とみよ )  
教授 国文学



## 本学卒業生が第20回小さな童話大賞、大賞受賞！

本学短期大学部国文科卒業生の幸田裕子（旧姓：徳丸裕子）さんが、「第20回小さな童話大賞」（毎日新聞社主催）の大賞を受賞されました。

小さな童話大賞は「子どもとおとなが出会う場をつくるおてつだいをしたい」という願いのもと、毎日新聞社によって創立された創作童話のコンクールです。

今回の受賞作品『お・ば・け』は4236篇もの応募作品の中から選

ばれました。幸田さんは、本年5月にも、第15回浜屋・よみうり仏教童話大賞金賞を受賞されており、引き続いての受賞となりました。（広報夏号で紹介）

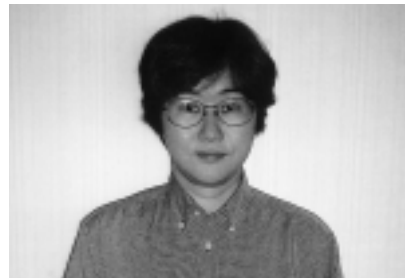
今後の幸田さんのますますのご活躍が期待されます。

～幸田裕子さんからひとこと～

今年は本当にラッキーな年でした。私の日々の生活からは、想像もできなかった、貴重な体験がいろいろできました。

これからもマイペースで、童話を書きつづけていきたいです。

（企画室）



幸田裕子さん

## 本学卒業生が佛像彫刻展を開催



富田珠雲さん

本学文学部仏教学科卒業生で京師師の富田珠雲さんが、9月26日（金）から28日（日）までの3日間、本学響流館1階ギャラリーにて、「第1回 佛像彫刻展」を開催されました。

富田さんは京都出身で、実家が仏具彫刻の関係の仕事をしているということもあり、幼い頃から佛像や木、彫刻刀などにふれる機会が多くあったそうです。16才から本格的に佛像彫刻を始め、現在は、夕方5時頃までは受注をうけた佛像を制作し、その後、夜12時頃までを自分自身の佛像制作の時間に

充てておられます。木を選ぶことから始まり、一体完成させるまでに大きなものだと5年、小さなものでも半年かかるということでした。

富田さんは、「佛像は、単に彫刻や美術品だけではなく生命をもっているように思います。見る側の気持ちによって、同じ像でもいろいろな顔を見せさせていただきます。」と佛像彫刻の魅力について語ってくれました。

今後の目標は、佛の大きさを表わしているとされる「丈六佛」、立って約5メートルの大きさの佛像を制作することだそうです。



会場風景

～富田珠雲さんからひとこと～

30才までに個展を開くことが、大谷大学在学中からの夢でした。周りの人の助けもあり、今回、母校でその夢を叶えることができ、とても嬉しいです。在学生のみならず、周りの友達、先生方との出会いを大切に、好きなこと・自分のやりたいことを見つけて、目標を立ててがんばってほしいです。私もいつも眼の前は真っ暗です。でもやり続けていると、いつか光が見えてくると思います。

（企画室）



## 本学卒業生が音楽プロデューサー、ソングライターとして活躍！

本学文学部真宗学科卒業生の倉光延行さんが、来年初めに、インスタント・カフェ・レコーズ (icr-musica) よりCDを発売されます。CDの収録は、9月下旬に設備の整った本学響流館4階の録音スタジオにて行われました。

倉光さんは京都出身で、大谷大学在学中の19歳の頃から「ジャム&ストロベリーギャングスターズ」というサルサミュージックバンドの一員として活動されていました。卒業後広告関係に従事しましたが、現在は、プロデューサー、ソングライターとして、instant cafe recordsのリリース（今年よりヨーロッパ、北米などの海外リリース）、元ピチカート・ファイブ野宮真貴さん、DJ須永辰緒さんの制作などと共にファッションショーのサウンドや、ラジオ番組（FM802、TBS）ジングル制作など多彩な音楽活動を展開されています。休日には、学生時代から続

けている野球やウインドサーフィンなどのスポーツも楽しめるそうです。倉光さんにとっての音楽の魅力は「音楽は苦痛もあるけれど、どれだけやっても楽しいところ！」だと語ってくれました。日本だけでなく、海外での活動も並行して展開されるとのことです。  
～倉光延行さんよりひとこと～

大谷大学は居心地がとてもいい大学ですが、せまい京都には沢山の大学があるので、大谷大学から一歩出ている人々に逢って、視

野を広げてみるのもいいと思います。貴重な学生時代150%ポジティブに過ごしてください。また卒業後も大学で学んだ親鸞聖人の“人とは”という問いかけが、いろんなシステムや状況の中でも、分かりやすいメッセージとなって行動の指針になっています。安富先生ありがとう！

インターネット・カフェ・レコーズのホームページ

<http://www.icr-musica.com>

（企画室）



倉光延行さん



録音スタジオ

## 実習懇談会（保育実習・社会福祉実習）開催

6月26日(木)、短期大学部幼児教育科と文学部社会学科社会福祉学分野が合同で実習協力施設と、大学側が話し合う実習懇談会を開催しました。幼児教育科と社会福祉



懇談会の様子

学分野は、保育・福祉実践家養成を目的としており、実習が大きなウエイトを占めており、実習が実りある成果を生むためには、実習協力施設と養成校（本学）との連携強化が最大の課題であり、そのことを実現することが開催の目的です。また、社会福祉学分野が開設し完成年度を迎え、先発している幼児教育科と同時開催することで、より充実した実習を実現したいと考えました。

懇談会は全体会と分科会、懇親会の3部構成で行われました。全

体会はメディアホールで、小川一乗学長のあいさつではじまり、社会福祉学分野の佐賀枝夏文より「本学の保育・社会福祉援助技術実習のあり方」についての主旨説明を行い、2部は保育所分科会、児童福祉分科会、障害者分科会、高齢者分科会に分かれて研究懇談の場が持たれました。その後、学生食堂で親しく懇談の場が持たれ、なごやかに合同懇談会は幕をおろしました。

（佐賀枝 夏文）

## 2003年度第1回留学生文化交流会開催

去る6月28日(土)に「2003年度第1回留学生文化交流会」が開催されました。当日は外国人留学生7名を含む19名の学生が参加しました。学生たちは、清水寺フィールドワークと藤平陶芸にて登り窯の見学と手ひねりを体験し、外国人留学生のみなさんとお互いの文化について活発に意見を交換するなどの異文化理解を深めました。

午前中に訪れた清水寺では、243年ぶりに奥之院本尊「三面千手観音菩薩」が開帳されており、外国人留学生のひとりには「この貴重な時期にここに訪れることがで

きて嬉しい。以前『清水の舞台から飛び降りる』という日本語を聞いたことがあったが、実際に舞台上に立って見下ろしてみても、日本語の感性を実感できた。」と話してくれました。

午後からの陶芸(手ひねり)体験では、先生(藤平陶芸)の指導のもと、茶碗・小皿・置物などを作りました。今回、初めて陶芸に挑戦する学生もあり、微妙な力加減に悪戦苦闘しながらも充実した楽しい一時を過ごしました。日本人学生のひとりには「この4月から京都に来ましたが、京都のフィー

ルドワークと陶芸体験ができ、異なる文化を持った外国人留学生のみなさんと親しく話げできたことが有益でした。」そして「次回もぜひ参加したいです。」と話してくれました。

(学生課)



陶芸体験

## 文化学科 スピーチ・コンテスト開催

去る7月9日(水)に、文化学科のスピーチ・コンテストが、本学響流館3階メディアホールにて開催されました。



コンテストの様子

このスピーチ・コンテストは、文化学科の必修授業「日本語表現・」の総仕上げとして授業の成果を確認し合うため、2001年度より開催しています。当日は12名の出場者が独自のテーマでスピーチを競い合いました。

会場に集まった参加学生と関係教員によって、表情・声の大きさ・速さ・内容等の6項目についての評価がなされ、総合的に審査が行われました。その結果、僅差ながら次の3賞が決定しました。

優勝：植山 舞子さん  
「私のおばあちゃん」

準優勝：前田 真希さん  
「アルバイトで学んだこと」  
山村 真代さん  
「最近思うこと」

敢闘賞：横田 恭子さん  
「私の宝時間」

スピーチ終了後、入賞した4名の表彰式が行われました。

(企画室)

## 日韓宗教研究FORUM開催

8月20日～22日、本学において「第二回日韓宗教研究FORUM国際学術大会2003」が開催されました。本学術大会は1993年から2000年まで8回にわたり日韓両国を往来して行われてきた「日韓宗教研究者交流シンポジウム」を発展的に改組し、2001年に創立記念大会(韓国精神文化研究院)を開催、今回が第二回目となりました。

統一テーマは「東アジアの宗教性とネットワーク」。大桑齊氏(本学名誉教授)が「東アジア近

世世界の思想ネット」と題して基調講演。3分科会の各テーマは「日韓の近代文化と仏教」「日韓の知識人と宗教」「日常生活の中の宗教性 大衆文化と若者の死生観」。

遅れてきた猛暑の最中、日韓を中心に170名を超える参加者が集い、通訳を交えての熱のこもった研究発表、討論が展開されました。メディアホールでの総合討論では同時通訳、ネット配信といった最新技術が駆使され、本学共催の下での充実した大会運営は特

に好評を得ました。建設的な国際対話の重要性が指摘される昨今、本フォーラムのさらなる発展が期待されます。第三回大会は2005年に韓国内で開催の予定です。



大桑齊名誉教授

## 学内防災訓練を実施

9月5日(金)に、2003年度の防災訓練を実施しました。当日は、大谷大学自衛消防隊員による消火器及び屋内消火栓を使った消火活動、1号館教室からの避難誘導訓練を行いました。また、北消防署より、消火器による初期消火の活

動の指導と、地震・火災・台風など天然の知識を講話とビデオで学習し、未然に防げるものへの対応と、未然には防ぎようのないものが起きた場合の対応を指導していただきました。

(企画室)



訓練の様子

## 全国父母兄弟懇談会開催

大谷大学・大谷大学短期大学部在学生の父母兄弟を対象に、毎年全国の数地区の都市において父母兄弟懇談会を開催しています。今年度は、奈良・松江・岡山の3会



個別相談風景

場で開催し、今後長野・東京の2会場を計画しています。

今年はそれらに加え、去る9月27日(土)、本学を会場に全在学生の父母兄弟を対象とした「全国父母兄弟懇談会」を約320名の父母兄弟を迎えて開催しました。

第部の全体会では、佐藤亨教育後援会長、小川一乗学長の挨拶の後、引き続き大学の現況報告が行われ、本学に対するご理解を一層深めていただきました。全体会終了後、個別相談会ならびに響流

館を中心とした学内施設見学があり、個別相談会では、博綜館5階会議室において、成績・進級、海外留学、進路・就職、学生生活、よろず相談の各コーナーを設置し、参加された父母兄弟から多くの相談が寄せられました。

また、第部の懇親会は会場を京都ブライトンホテルに移し、約40名の指導教員の出席を得て、父母兄弟との和やかな懇談の場として有意義なひとときを過ごしました。(校友センター)

## 前期卒業式を挙行

9月30日(火)、2003年度前期学位記並びに卒業証書授与式が講堂において挙行されました。文学部57名、短期大学部8名の卒業生及び大学院修士課程修了生2名に、学位記並びに卒業証書が授与され、小川一乗学長の告示に続いて、熊谷宗恵理事長より祝辞が述べられました。

引き続き、多目的ホールにおいて同窓会主催による祝賀会が開催されました。卒業・修了と同窓会への入会を祝って、卒業生、修了生、ご父母並びに教職員が一同に会し、和やかなひとときをすごしました。

(総務課)





## 第102回開学記念式典並びに 初代学長清沢満之謝徳法要を挙行

10月10日(金)、第102回開学記念式典並びに初代学長清沢満之謝徳法要が挙行されました。(本来は10月13日が開学の日ですが、今年は休日の関係で日程を繰り上げて執り行ったものです。)10月13日を開学の日とするのは、近代の大学として出発した1901(明治34)年の開校式が挙行された日にちなんでいます。また、今年から本学初代学長清沢満之の謝徳法要を、併せて厳修することとしました。

式典は讃歌、法要に続いて、永年勤続者の表彰並びに大谷大学育英奨学生等の証書授与と記念講演

が執り行われました。

今年勤続30年を迎えられ、永年勤続者の表彰を受けられたのは、教育職員の藤田昭彦、若槻俊秀の両教授、並びに事務職員の日野純悟幹事の3名で、それぞれに表彰状と記念品が贈られました。

引き続き、龍谷大学名誉教授上山大峻氏より「花それぞれに咲け」と題して講演を頂きました。上山氏は、正義の名のもとに一人一人の命が省みられない昨今の世界の状況を悲しみ、民族の違いを超えて共に生き合う世界を説くのが、仏教の精神であるとお話くだ

さいました。ことに大谷大学においては、その出発点に清沢満之の精神があり、欧米の近代化に潜む闇を見抜いた、その満之の勇気を継承し、一人一人が大輪の花を咲かせてほしいという励ましのお言葉を頂きました。(総務課)



上山大峻龍谷大学名誉教授

## 大谷大学博物館が開館しました！

近代化100周年を記念して竣工した響流館に、兼ねてより準備を進めていました「大谷大学博物館」を開館し、10月14日より一般公開しています。本館は真宗・仏教文化財を中心とする博物館ですが、



開館式の様子

あわせて真宗・仏教文化財の情報発信・受信のセンターとなることを目指しています。また京都府教育委員会から博物館法に基づく「博物館相当施設」の指定も受け、名実ともに「博物館」として出発しています。

開館にあたって本館所蔵の重要文化財7点(「宋拓・化度寺故僧邕禅師舍利塔銘」「宋拓・信行禅師興教碑」「判比量論」「高野雑筆集」「三教指帰注集」「春記」「選択本願念仏集」)を、「大陸の

文物と碑文」「天平文化の息吹」「平安貴族と仏教」「浄土教の展開」の4コーナーにわけ、それぞれ関連する作品によって構成した特別展「古典籍の魅力 大谷大学の名品」を11月30日まで開催しています。是非一度足を運び、永く人々に伝えられてきた文化財の力を感じてみてください。

なお入館は有料ですが、在学生・教職員は学生証・職員証の提示で入館できます。

(博物館)

## 大谷大学ホームページ リニューアル！

2003年9月上旬から、大谷大学ホームページが順次リニューアルされています。今回のリニューアルでは、デザインを一新し、ストーリーリング(動画)配信ページを設けるなど、今まで以上にみなさんに関心を持っていただけるものとなっています。また、これまで企画室まで寄せられた意見をも

とに見やすい画面になるように改善し、ユーザーごとに入り口を分けるなどして、より幅広い方へ開放されたホームページとなっています。

本学では携帯電話を使ったサービス(休講のお知らせ・個人掲示板など)も行っています。あわせて利用してください。

HP

<http://www.otani.ac.jp/>

携帯電話

<https://www1.otani.ac.jp/m/>

(利用可能な携帯電話はSSL対応機種のみとなっています。詳しくは「学生向け情報提供システム」をご覧ください。)

(企画室)



## スクールバスリニューアル！

2台のスクールバスが大学（本部キャンパス）と湖西キャンパス間を運行していますが、そのうちの1台、青色のバスを7月末にリニューアルしました。これを機に茶色のバスもロゴマークを一新しました。これまで同様安全快適な運行を目指します。



リニューアルしたバス

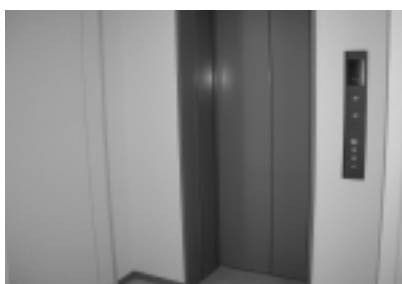


バスの運転手さん  
左：三宅信次さん 右：清水宏素さん

## 夏休み期間に各種工事を実施しました

### 学内施設バリアフリー化工事

この度2号館にエレベーターを、尋源館に博綜館渡り廊下からスロープを設置するバリアフリー化工事を行いました。



2号館エレベーター設置



尋源館スロープ

### 非常勤講師控室の移転

博綜館1階入学センター隣にあった、非常勤講師控室を至誠館2階に移転しました。エレベーターも設置されました。



至誠館エレベーター設置



非常勤講師控室

## コピーサービスの変更

従来のコピーサービスを見直し、これまで以上にサービスを充実させるため、この度コピー機をミノルタからゼロックスに入替えました。

入替えに伴う主な変更点（サービス向上面）は次のとおりです。

コピーカードのプレミアを見直しました。

1,000円のカード104度数（ミノルタ）を110度数（ゼロックス）に変更

500円のカード 50度数（ミノルタ）を 52度数（ゼロックス）に変更

カラーコピーサービス

一部にカラーコピー可能機種を導入しました。

料金はカラーの場合1枚5度数（カードコピー機のみ）、モノクロは1枚10円（1度数）です。

その他、詳細についてはコピー室等の掲示物をご覧ください。

## 清沢満之全集 全巻出版

本学は2001年に、学祖である清沢満之先生が東京巢鴨の地に真宗大学を開学してから百周年を迎えました。また昨年は清沢先生の百回忌に当たっており、本学でも百回忌法要を勤めました。そのような中で、清沢先生の仕事を改めて確かめるとともに、今後の研究に資するための全集の刊行が企画されました。小川一乗学長を編集委員代表とし、30名ちかくの教員が編集担当者となる、いわば大学あげての一大事業となりました。

これまでも『清沢全集』全三巻(無我山房刊)、『清沢全集』全六巻(有光社刊)、『清沢満之全集』全八巻(法蔵館)の3回にわたって全集が刊行されていますが、その後、新資料も発見されており、清沢研究の基礎資料となるような新たな

全集が求められている状況がありました。そこで、今回の全集は清沢先生の著作をテーマごとに分け、全九巻をもって構成しました。また依拠本を明示し、できるだけ忠実に依拠本を写すことを編集の基本方針としました。またできるだけ広く全集が行きわたることを考え、岩波書店から発刊することになりました。

各巻の題目は以下の通りです。

- 第一巻 宗教哲学
- 第二巻 他力門哲学
- 第三巻 哲学論集
- 第四巻 哲学史研究
- 第五巻 西洋哲学史講義
- 第六巻 精神主義
- 第七巻 仏教の革新
- 第八巻 信念の歩み - 日記
- 第九巻 信念の交流 - 書簡

各巻には文献ごとの解題および校訂註、編集担当責任者による解説を付しました。また第九巻には、年譜と著作目録も載せております。A5版で380頁～540頁からなります。学生諸君にも是非とも手元に置いて、熟読してほしい本であります。

(清沢満之全集 編集委員会)



清沢満之全集

## 全九巻の編集を終えて



義盛幸規さん

この度、『清沢満之全集』全九巻が刊行終了致しました。『全集』は主に真宗総合研究所の清沢満之研究班と岩波書店において編集されましたが、改めてこの大きな事業に携わることができた喜びをかみしめるとともに、非常に有意義な時間を過ごせたと振り返っています。

『全集』編集の作業は、清沢満之の著作及び資料の収集から始まり、それをデータベース化・原稿にして、それから岩波書店と3度校正のやりとりをし、本ができあがるという流れでした。岩波書店の担当の方より送られてきた作業工程のスケジュール表を見て戦々兢兢としたものです。そのスケジュール表にはほぼ10日おきに各巻の各編集工程(一次校正、二次校正等)の締切りが設定されていました。全部で九巻刊行しますので、第三巻以降はどんどん次の巻が重なってきます。例えば、第三巻・第四巻・第五巻の校正作業を同時に進行させなければならないことが数ヶ月続きました。それでも、締切りの前には研究班みんなで手分けして作業を進め、乗り切りました。

実際に校正をしていて、清沢満之の発する言葉を一字一句丹念に追うことができましたし、普段は滅多に接することができない清沢満之の自筆原稿を目の当たりにできたこと等、非常に貴重な経験をしました。また、岩波書店の担当者の方とのやりとりでは、出版業界の厳密な仕事ぶりにも触れることができました。また、各巻編集担当委員の先生方とのやりとりにおいては、それぞれの先生の清沢満之への思いやその研究に触れることができました。ですから、『全集』の編集作業自体が自分の学びへと繋がっているように感じますし、むしろこれから繋げていかねばならないとも思います。

実質的には2002年6月に第一巻の原稿を岩波書店に入稿してから第九巻刊行の2003年7月まで編集作業は続きました。編集実務は私たちが行いましたが膨大な清沢満之の資料を集め、取り揃えたのは私たちだけでなく以前の当研究班のスタッフや研究に関わってくださった方々であり、更には清沢満之の研究を続けてくださった諸先輩方のおかげだと強く感じています。

今回の『全集』編集作業に携わったことにより、学生として清沢満之の思想に触れるだけでなく、こうして実際に清沢満之の自筆に触れ、清沢満之に縁のある人に会い、間接的ながら清沢満之に触れることができたことに喜びと誇りを感じています。これからは、この『全集』によって自分自身の学びを深めていきたいと思っています。

最後に、清沢満之を研究してくださった諸先輩方、『全集』編集に携わってくださった編集委員の先生方、『全集』刊行に尽力してくださった岩波書店の担当の方々、一緒に仕事をしてきたアルバイトの方々、本当にありがとうございました。

(研究補助員 博士後期課程真宗学専攻第2学年 義盛 幸規)

# 事務窓口ホームページ化への取り組み ～「パソコンに関するアンケート」集計結果報告～

2003年4月に「パソコンに関するアンケート」を、「2003年度 聴講登録書類」とともに配布し、830人の方から回答を得ることができました。

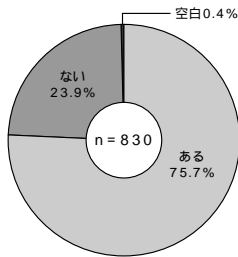
このアンケートは、全学生に対する大谷大学「学生向け情報提供システム」のサービス内容や有効な配信方法などを検討し、今後のシステムに反映させるべく実施しました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

なお、集計結果は以下の通りです。

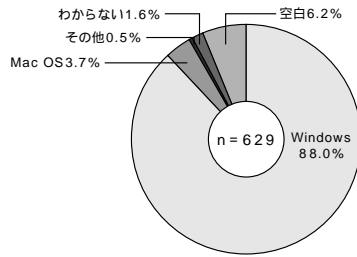


学生向け情報提供システムトップページ

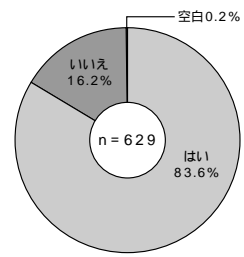
(設問1) 自宅・下宿等であなたが使用できるパソコンがありますか



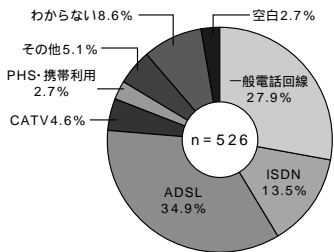
(設問1-1) ある場合は主に使用するOSもお答えください



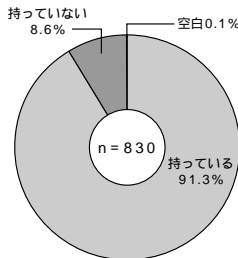
(設問2) そのパソコンはインターネットに接続できますか



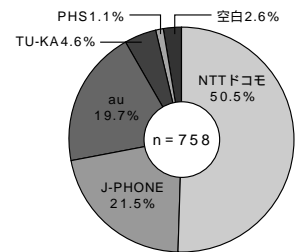
(設問3) 接続方法(回線の種類)を教えてください



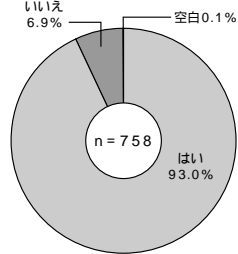
(設問4) 携帯電話を持っていますか



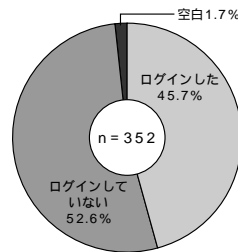
(設問4-1) 持っている人は機種もお答えください



(設問5) 携帯電話はインターネット接続(メール・Web検索)できますか



(設問6) 昨年12月からの「情報提供システム」テスト運用で一度でもログインしたことがありますか



## 今後の予定

「学生向け情報提供システム」では、2003年度より【休講情報】【時間別教室状況】【携帯電話版の稼動】といった機能の拡充を実施してきました。また、12月からは、求人情報などのサービスを追加していく予定です。

詳細につきましては、「学生向け情報提供システム」内の【一般掲示板】などで随時報告します。

是非ご活用ください。





## 2003年度 海外研修を終えて

### 英国 ノッティンガム大学 語学研修

8月1日(金)～8月28日(木)

参加学生数 16名(引率者2名)

ノッティンガム大学にて語学研修(3週間)

午前 授業

午後 自主学習と個別指導

週末の文化研修旅行・社会見学・観劇

Oxford, Stradford-upon-Avon, York, Chatsworth,

D.H.Lawrence Museum

Shakespeare's *As You Like It*

ロンドン滞在にて文化研修・社会見学(4日間)



Chatsworthのメインゲート前にて

本年の英国夏期語学研修は、1996年以来6年間続いたランカスター大学から場所を移して、2年振りにノッティンガム大学で行われました。この研修場所の変更と2年振りの実施ということが従前の英国研修との大きな相違点であります。

ノッティンガム大学での研修は、そうした環境の変化に伴う種々の相違はありましたが、授業に関しては基本的に従来と大差は

ありませんでした。それは授業計画をわれわれの方から提案したことと同時に、"Communicative Method"に基づいて授業が行われたからであります。つまり、学生の既に習得している英語力を実生活のあらゆる場面において活用する自発性と実践に基づいて、コミュニケーション能力を高めようとする言語習得法です。したがって、授業中のみならず、友達との会話、食事、町での買い物、社交活動、

旅行などあらゆる機会を英語習得と文化理解の場にしようし、またそのことが強く要請されます。こうした方法に慣れない学生たちは最初のうちは戸惑いがちでしたが、徐々に慣れ、第2週目になると学ぶ姿勢にそれまでには見られなかった「何とか英語でコミュニケーションしよう」という自発的努力と自己表現的要求が芽生えてきました。そしてこの頃には、私が毎回授業に出席する必要もなくなりました。

研修のクライマックスは最終日に行われた1人5分間のPresentationです。たった5分間の発表とはいえ、これには3週間の研修のすべてが凝縮されて現れる。そしてまたそのような観点から評価がなされるので、学生たちは種々の工夫をし、自分の持てる力を十分に発揮することが要望されます。そのために、最後の1週間彼らは先生たちの助けをかりながら、多くの時間と精力をその準備に費やしていました。その効あつてか、われわれが思っていた以



ロンドンのトラファルガー広場中央にて



上の出来ばえであり、指導してくださった先生たちからもそれぞれに大変印象深い発表であったという好評を頂き、私自身もホッとすると同時に、若い学生たちの可能性に改めて驚きました。

ノッティンガム大学の周辺にはD.H.ロレンスやロビンフッド物語に関わる文学的・歴史的名所、英国を代表するカントリーハウスと庭園をもつChatsworthなど、一度は是非訪ねてみたい場所が多数あります。週末や授業の合間にそうした所を訪ねることができ、イギリス文化理解のためにも大いに有益でした。

今年の研修も最後に4日間のロンドン滞在と自主研修をもって終了しましたが、当初に予想した以上の成果をあげ、全員無事帰国することができて大変有意義な研修となりました。参加者の英語力の、今後のさらなる発達を願います。

(築山 修道)



ノッティンガム大学夏期英語研修終了証授与式後の記念撮影

## ヨーロッパ(フランス)文化研修

8月27日(水)～9月8日(月)

参加学生数 18名

(引率者 2名、添乗者 1名)

研修地：スイスのジュネーヴ、フランス・アルプスのシャモニー、エギーユ・ド・ミディ山頂、サヴォワ地方のアヌシー、エクス・レ・バンのオートコンブ修道院、ローヌ・アルプ地方のシャルトルーズ会修道院、オーベルニュ地方のル・ピュイと巡礼路、リヨン旧市街、ブルゴーニュ地方のポーヌとオテル・デュー(施療院)、クロ・ド・ヴジヨ(シトー修道会創設のワインシャトー)、ヴェズレーの丘と聖マドレーヌ寺院、パリのサクレクール寺院、ヴェルサイユ宮殿とその庭園など。





今年のフランス研修は、まず、スイス経由でフランス・アルプス地方に入り、風光明媚な湖の街、アヌシーからスタートしました。滞在中にはロープウェイを使って一気に4000m級の針峰エギーユ・ド・ミディにも登り、アルプスの一大パノラマも堪能しました。

今回の研修では、パリやリヨンのような大都会の他に、一般の観光ツアーではなかなか行けぬエクス・レ・バンやアヌシーのような美しいリゾート地、ヴェズレー、ル・ピュイ、ポーヌのような歴史と伝統の街などを、全体としてバランスよく配し、フランス文化の特徴ともいえるべき「多様性と統一」を実感できるよう工夫しました。

ところで、テレビや書籍などでも取り上げられる機会が増えていることから知られるように、このところ世界的に静かな巡礼ブームが起こっています。今回の研修では、こうした宗教性への回帰ともいえる動きを肌で感じ、考えてもらうことも目的の一つでした。

フランスには、中世以来の大巡礼地、サンチャゴ・デ・コンポステラに至る三つの巡礼路があります。なかでも、地方でその起点と

なった街として、フランス中央山塊地方の街、ル・ピュイと、ブルゴーニュ地方にあって、教会の丘全体がユネスコ世界遺産に登録されている美しい集落、ヴェズレーが知られています。

今回はその両方を訪れることができたが、ル・ピュイの近くでは、景観に恵まれたその巡礼路の一部を実際に歩いてみることもしました。老若男女の巡礼者たちに出会って挨拶を交わしたり、ボランティアの若い男女が巡礼者に飲み物をふるまっている姿を目の当たりにしたことは、参加者には、なかなか得難い貴重な経験となったようです。

もうひとつの巡礼の基地、ヴェ

ズレーの聖マドレーヌ寺院では、日本人修道士のフレール・ダミヤン・原田氏に案内をしていただき、また特別にわれわれのために、パイプオルガンの演奏までしていただきました。大聖堂のなかでの荘厳で感動的な響きは、今回の旅行のなかでも特に強烈な印象を残しました。

猛暑がしきりと報じられた今夏のフランスでしたが、研修は8月27日からの実施だったことが幸いし、総じて天候にも恵まれ、すべて順調に行われました。

引率者も含め参加者全員にとって、感動と収穫に富む貴重な13日間となりました。

(並木 治)



# インドの宗教と文化 現地研修

第1班 8月25日(月)～9月7日(日)  
参加学生数22名(引率スタッフ4名)

第2班 9月1日(月)～9月14日(日)  
参加学生数30名(引率スタッフ4名)

仏跡研修：ブッダガヤー、象頭山、スジャーターの村、ラージギル(王舎城・竹林精舎・靈鷲山)、ナーランダー仏教大学跡、クムラハール(パトナ)、ヴァイシャリ、ケッサリア大ストゥーパ、チュンダの村、クシナガラ、サハートマハート(舎衛城・祇園精舎)

博物館見学：カルカッタ国立、サルナート、マトゥラー、ニューデリー国立の各博物館

インド文化研修：カルカッタ・カーリー寺院、フグリー河ガート、ピクトリア・メモリアム、インドの夜行列車、象頭山の下集落、アヨーディア、ベナレス・ガート(沐浴風景、火葬場)、ベナレスヒンドゥー大学内ヒンドゥー寺院、民族舞踊カタクダンス、世界遺産：アグラ城・タージマハル、ガンジー首相記念ラージガートなど

福祉・教育施設等見学：マザーテレサの家・孤児院、ベナレスの私立学校(幼稚園から高校まで)、ジャワハルラル・ネルー大学(2人の先生からの講義とネルー大学生との交流会)



ケッサリヤのストゥーパでの記念写真(いつのまにか野次馬たちまでも写っていた)

「谷大生ならインドに行こう!!」このキャッチフレーズが定着し、インド現地研修が「インドの宗教と文化」という正規の授業になってからもう12年を経過しました。インド・パキスタンの軍事紛争のため休講になった昨年を除いて、毎年数十名から100名くらいの学生を2班に分けての現地研修を続けてきました。例年、このインド研修では、何らかのハプニング、トラブル、下痢を中心とした病気がごくあたりまえのことでした。かつて、帰りの航空機が24時間遅れたり、洪水で予定の仏跡に半分も行けなかったり、重病人があったりしたこともありましたが、本年度は小さいハプニングはあったにしても、ごく順調に進み、両班とも結果的に大成功になったといえます。

今回、特に第1班で目立ったハプニングは、結果的には後日戻ったものの、タイ航空機において、往路1個、復路1個の学生のスーツケースが予定通りに届かず(過去にも一回あり)、当該学生に大変な精神的苦痛と物質的不便さを

味あわせたことです。航空会社の責任とはいえ、このようなことは今後決してあってほしくありません。

本年度は例年とは幾分コースと日程を変更したため、3年前に新発掘されたばかりのケッサリヤのストゥーパに行けたのは幸甚でした。その規模はジャワのポロブドゥールをしのぐものであり、釈尊が最後の旅路で、ヴァイシャリの人たちと別れを惜しんだ故地であるといわれます。ただ、ここに行くのに、先の洪水で橋が流されて、バスが進めず、全員が5キロもリキシャに乗るということになりました。学生たちが未知の経験にかえって喜んでいたのでせめてもの救いです。また、サハートマハートからベナレスまで10時間ほどのバス移動をしましたが、その間に、日本人のほとんど行ったことのない「アヨーディア」というラーマ神の生地といわれるヒンドゥー教の聖地にも行けました。数年前、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒の紛争でメディアをにぎわせたところでした。

学生たちは、新しいインド体験

に、日に日に目を輝かせながらインド研修を満喫していったように思います。聖地ごとに分担して全学生とスタッフが感話をしましたが、日を追うごとにその内容が充実していったのに筆者は感動しました。仏跡や観光地では物売りと物乞いに取り囲まれて当惑しますが、日本人を知らない田舎では、我われを見物に来る優しそうな野次馬たち、あどけない子供たちの一群に取り巻かれながらも、一生懸命に交流しようとしていた学生

たち。いい思い出となるでしょう。

最後のクライマックスは、デリーでのネルー大学の学生たちとの交流でした。阪神タイガースの歌、折り紙指導、器械体操など各班ごとに工夫したアトラクションに対して、ネルー大学生は、インドの歌やすばらしい民族舞踊で私たちを魅了させてくれました。話もな



祇園精舎ガンダクティ( 釈尊のおられたところ )での感話



ネルー大学生との交歓会

かなか終わらず、別れの時間になってもいつまでも離れがたく、ロビーで立ったまま談笑する両大学の学生たちに、私たちスタッフは目を細めたことです。

やはり、このインド研修は、学生たちにある強烈な印象を与えてくれたようです。「谷大生ならインドに行こう!!」のキャッチフレーズをさらに学内に広めていきたいものです。

( 吉元 信行 )





## 学問のしおり

四十数年前には私自身もカリフォルニア大学の学生であった。専攻は英文学で、苦手な生物学の授業を一番うしろの席に坐ってため息ばかりついていたので、女子学生達は私が恋をしていると思っていた。指導教員Renoir教授はフランス生まれで、祖父はあの有名な印象派の画家Pierre-Auguste Renoir ピエール・オーギュスト・ルノアール、父は映画監督ジャン・ルノアールであった。御自宅の外観は中流なみに見えていたが、なかに入るとすぐ目に付くのは、壁に掛けてあった祖父の素晴らしい油絵やデッサンだった。教授は英文学科の中でも色々な意味で特別な存在であった。まず当時、フランス人の英文学者の数は極めて少なかった。それから、ユーモアにあふれた、得意のきわどい中世fabliauの話を変えながら、チョーサーその他中英語期の詩をテーマにした講義は並々ならぬ人気であって、大教室は超満員で、うしろにはいつも学生達が立っているあ

りさまであった。当時、決して人気のあった専攻ではなかったチョーサーや中世文学に、その一人のフランス人の先生によって、多くの熱心な愛好者や専門学者が作り出された。

私のもう一つの専攻の比較文学では、分野はヨーロッパの国々の文学に限定されたので、やりたかった日本や中国の文学は対象外だった。そのために、日本文学の勉強は来日するまでのお預けになった。

ある書簡のなかでD.H.Lawrenceは東洋と西洋の違いを指摘してから、文化の国際的な視野の必要性を強調している：

「縄が切断されると、その片方の端に結び目を作ってもだめ...空間に片方の手だけでは充分ではない。反対側の空間から、その手を掴んで橋をかけるもうひとつの手が必要だ。」

人間性は東洋と西洋に別れているといえる。そして、例えばひとりの日本人が完成した日本人になったとしても、それ



### 反対側の空間から...

Norman Waddell

ではまだ不十分である。なぜなら、それではまだ半分の人間にすぎないからである。“100パーセントアメリカ人”も、まだ人間の半分にしか達していないということである。

そのために、日本の学校では英語、ドイツ語などの西洋の言葉を第一外国語にする必要がある。それと同時に、そして同じ理由で、アメリカの学校で日本語か中国語などを第一外国語にする必要がある。アメリカの場合を考えると、若者たちが松尾芭蕉、小林一茶、白楽天などを読めないということは、とても残念なことだと思う。

自分の国と全く異なった外国語と文学を勉強して、似ているところと似ていないところを、慣れていないところと不慣れなところを見つけるべきである。たとえば、日本の学生であれば、エマーソンを読むと荘子を思い出す、ソーローは日本の俳人たちを思い出させる。さらに、ホイットマンの宇宙的な意識や直感と見解

においての超国家的な自立に、日本の学生はとても新しいものに出会っていると気付くのである。アメリカ人にとって、万葉集の叙情性に違和感はないが、一茶の蚤と虱への感情移入は思いがけないところなのだ。

卒業してから数年後、ルノアール教授の声を、もう一度聞くために大学を訪れた。教授がホールに入って、いきなり、「これが最後の講義です」と言われた。だから、私はおもいがけずに、先生の教壇に立つ最後のすがたを見ることができた。

来年、私もその最後というのがやってくる。三十五年間の教師生活、教えられつつ現在に至った来し方を顧みると、アメリカに生まれ、日本にやってきて、世界の両面を、ある程度理解することが出来たということは、幸せなことだろう。

(ノーマン ワデル 教授 英米文化・日本仏教文化)

## 2003大谷大学紫明祭

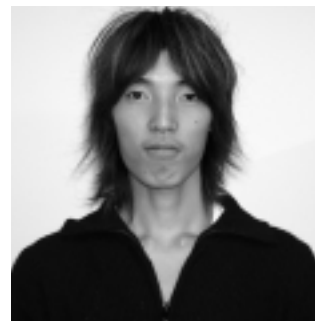
テーマ：「風樹～風は未来に吹く～」

期間：2003年11月6日(木)～11月9日(日)

日	場所	イベント名	時間	内容概略
6日(木)	野外ステージ	園遊会	16:30～20:00	2003年紫明祭の開催を告げるイベント イベント紹介 樽開きなど 「ジャパハリネット」「EAST WOMAN」スペシャルライブ
7日(金)	野外ステージ	競音会	12:00～16:30	軽音楽部・FOLK研究会・JAZZ研究会 各団体3バンドによるライブ
		Best of Couple 2003	18:00～20:00	2人1組のチームが対決するイベント
	講堂	VIVA! 体育会	10:00～12:00	大谷大学体育会主催によるイベント
		武藤 敬司 講演会	14:00～16:00	プロレスラー武藤敬司氏による講演会(有料)
8日(土)	野外ステージ	レッツらファンキー ～ATATA RAINBOW GUNS～	12:00～13:00	有志によるライブ
		Jimama Live	14:00～15:00	学外バンドによるライブ
		STONE LEEK LIVE @OTANI UNIV	16:00～17:00	有志によるライブ
		漢華 2003 ～花咲き乱れし秋の祭典～	18:00～20:00	ステージ上での女装大会。
	講堂	SOUL'd OUT Heartsdales Live in 紫明祭	16:30～19:00	SOUL'd OUT Heartsdalesによる コンサート(有料)
9日(日)	野外ステージ	ACAPELLA LIVE!!!	11:30～12:30	有志によるライブ
		PACES Live	13:00～14:00	〃
		U-one 2003 ～燃える上腕二頭筋～	15:00～17:00	谷大最強の腕相撲チームを決めるイベント
	キャンパス内	後夜祭 ピンゴで学祭をぶるでゅーす	18:00～20:00	2003年度学園祭最後を飾るイベント 今年はピンゴゲームをします
		ウォータニーを探せ!! リロード	12:00～14:00	学内でスタンプラリーを行います
2301教室	宗教シンポジウム	13:30～16:30	テーマ：現代に宗教を生きる 基調講演：東京大学大学院教授 末木 文美士 氏 大谷大学教授 門脇 健 氏	
7日～9日	博綜館ピロティ	OBSサテライトスタジオ	10:00～20:00 最終日 20:30まで	大谷大学放送局による学内の案内・イベント
	キャンパス内	展示・バザー	7・8日 9:00～19:00 最終日 9:00～18:30	学生によるバザー・展示
	学内食堂	サントリー酒場	7・8日 17:00～19:30 最終日 16:00～19:00	体育会による酒場

イベント・時間や出演者の変更等がありますので、ご了承がいます。

## 「風樹～風は未来に吹く～」



### 学園祭実行委員会

委員長 要田 憲人

気が付けばすっかり肌寒くなりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて今年も待ちに待った「祭」の季節がやってきました。僕たち学園祭実行委員はこの祭を最高に盛り上げるものとするためこれまで頑張ってきました。

僕は今年で学園祭スタッフとして2回目の学園祭を迎えます。今年、自分が学園祭実行委員長をさせて頂くにあたりまず思ったことは、学園祭の基盤を作り上げる実行委員会を最高に楽しいものにしようということです。細かいことにとらわれず、一人一人が学園祭を盛り上げるために意見を出しあい、それについて全員が考えていく環境、一人一人が自分だけの「色」を出せる環境を作っていきたいと思いました。そして自分自身も「自分だからできること」

「自分にしかできないこと」を学園祭のために全力でやっていこうと思いました。自分はこうしていきたい、こうなりたいというそれぞれの目標をしっかりと活かせる場にしていこうと思いました。

しかし、それは一人だけでできることではありません。自分を支えてくれる人たちがいて初めてできることであり、仲間を信頼すること、助け合って行くこと、目と目を合わせて話し合えること、そしてそこで一丸となる事で一人一人の特有の「色」が生きて来るのだと思っています。

その中で考え出されたのが「風樹～風は未来に吹く～」というテーマです。我々一人一人の想いを風として、今まで受け継がれて来た学園祭、その中に込められて来た人たちの想いという樹に、新た

な風を吹きつける。そうする事で僕たちの想いをのせたその樹は、またさらに大きく成長していくことでしょう。そしてそれがまた次の学園祭へと新たに引き継がれていくのです。

一人一人の想いはそれぞれ違う「色」です。だからこそおもしろい。皆がそれぞれの色で、ひとつの大きなキャンパスに想いを描いていくわけです。近くで見ても解りません。今までより少しだけ自分の視点を広く、大きくする事で、それが良い具合にひとつに交じり合って、色鮮やかな「祭」を描き出しているのが解るはずです。僕らは第103回の学園祭をそんな最高の祭にしていこうと思っています。皆で今年の学園祭を最高にアツク盛り上げていきましょう。

## 園遊会・宗教シンポジウムのご案内

今年で103回を迎える大谷大学紫明祭が11月6日(木)から9日(日)まで行われます。

6日(木)の午後4時30分からは、紫明祭の前夜祭にあたる園遊会が開催され、サンクンガーデンの野外特設ステージにて各種イベントが開催されます。ゲストには「ジャパハリネット」「EAST WOMAN」

を迎えライブを行います。おおいに楽しんでください。

なお、当日には、京都市北区長、北大路の商店街の方や近隣住民の皆さんをお招きし、ともに園遊会を楽しんでいただきます。

9日(日)午後1時30分からの宗教シンポジウムでは、テーマ「現代に宗教を生きる」と題して日本仏

教学ご専門の東京大学大学院教授・末木文美士氏をお招きし、本学の宗教学ご専門の門脇 健教授とともにそれぞれの立場から基調講演をいただきます。

おふたりの基調講演をもとに、参加者の皆さんと一緒に考えるシンポジウムを行います。

## 総務課

### 大谷大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要

大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要を以下の日程で厳修いたします。

日時 11月27日(木) 午前10時  
 場所 講堂  
 (記念講演)  
 講師 本学名誉教授 名畑 崇  
 講題 念仏<sup>ちようじ</sup>停止と「くせごと」私考  
 - 法勝寺塔の焼失をめぐって -

### 年末・年始の日程

12月27日(土) 宗祖御命日勤行  
 - 事務休止 -  
 1月8日(木) 修正会  
 1月8日(木) 授業再開

## 教務部

### 真宗大谷派教師前期・後期修練、教師補任申請の説明会について

後期修練ならびに教師補任申請(大学院・文学部・短期大学の修了・卒業年次生主対象)の説明会を11月中旬に行います。

また、前期修練(短期大学部第1学年、科目等履修生真宗大谷派教師資格取得コース生主対象)の説明会を12月中旬に行います。

受講予定者は教務部掲示板にて日時等を確認の上、説明会に出席してください。

### 修士論文・卒業論文の提出について

#### 論文提出・題目変更締切日について

明年3月、文学部卒業見込み、大学院修士課程修了見込みの学生は、右記の一覧表で論文提出締切日等を確認の上、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務部窓口で受取り、指導教員の承認印を得た上で、右記の題目変更締切日までに教務部へ提出してください。

#### 提出場所について

教務部窓口へ提出してください。ただし、修士論文の提出最終日および卒業論文提出最終の2日間は右記の会場に提出してください。

#### 題目変更・論文提出締切日時について

種 別	題目変更締切日時	論文提出締切日時
修 士 論 文	12月3日(水) 午後5時	12月10日(水) 午後4時
卒 業 論 文	12月17日(水) 午後5時	1月13日(火) 午後4時

#### 提出最終日の会場について

種 別	最終日	会場
修 士 論 文	12月10日(水)	至誠館会議室(至誠館2階)
卒 業 論 文	1月9日(金) 13日(火)	多目的ホール (講堂棟3階)

#### (注意事項)

論文等の提出方法や様式については『履修要項』や『卒業論文作成の手引』で確認してください。

ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、分野により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合で、所定の書式以外で提出するときは、題目変更締切日までに「ワ

ープロ書式所定外作成届」を教務部まで提出してください。

提出最終日の締切時間「午後4時」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。午後4時の段階で、この要件を満たしていない論文は受領できませんので注意してください。



## 冬期休暇中の図書の館外貸出について

通常の貸出手続きにより借り出している図書は、すべて返却した後、新たに冬期休暇中の館外貸出の手続きを取ってください。  
手続きには**学生証**・**利用証**を必ず携帯してください。

[貸出冊数(通常貸出冊数と同じ)]

文学部・短期大学部学生	5冊以内
科目等履修生	
聴講生	
研修員等	
大学院生	10冊以内
非常勤講師	
名誉教授	20冊以内
教職員	

[ 手続期間 ]

12月15日(月)～12月26日(金)

[ 返却日 ]

1月13日(火) 厳守

\* 年始は、1月8日(木)授業開始日から平常通り開館します。

\* 詳細、変更は掲示・ホームページにてお知らせします。

## 進路就職センター

進路就職センターは、進学や就職など、進路全般についての相談窓口です。学年を問わず気軽にご相談ください。

### 就職支援企画

- 業界(企業)研究講演会 -

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

2003年11月実施(詳細は掲示確認のこと)

就職希望者に対して「業界」の動向や展望、企業内での仕事などについての講演です。また、期待される人材などについても知ることができます。

### 第3回 就職ガイダンス実施

- 就職活動直前ガイダンス -

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

2003年12月6日(土)・20日(土)実施(詳細は後日掲示)

本格的に始まる就職活動の直前に、総まとめ的なガイダンスを実施します。今まで参加できなかった学生はもちろん、参加していた学生も是非参加し、今後の活動に望んでください。

### 第4回 就職ガイダンス実施

- マナー・リクルートファッション・Uターンについて -

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

2003年12月25日(木)・26日(金)実施(詳細は後日掲示)

就職活動におけるマナーやリクルートファッション、またUターン就職をするにあたっての注意点なども説明します。

### ゼミ別ガイダンス

(文学部第3学年対象)

2003年9月より実施中

後期授業開始と共に、進路就職センター内の資料活用方法や、これからの活動について説明しています。参加指定日(掲示参照)に参加できなかった学生は、進路就職センターに申し出てください。

### 就職活動報告会

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

2003年12月17日(水)実施(詳細は後日掲示)

既に進路が決定している卒業年次の在籍生が、どのように活動してきたかを聞く絶好のチャンスです。今後の活動の為に是非参加し、有効な情報をキャッチしてください。

### 就職活動全般対策合宿

(文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年対象)

2003年12月13日(土)・14日(日)

本格的に始まる就職戦線に向けて、どの様なことが重要なのかを実践的に体験できます。また、履歴書・自己PR・面接など、就職戦線に必要な情報が入手できます。

## 第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

秘書技能検定試験対応ビジネスマナー講習 第3回  
社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ。

第72回秘書技能検定試験は2月上旬に実施予定です（要別途申込）。

TOEICレベルアップ講習 第3回

第3回は600点へのレベルアップを目指した対策講習を開講します。

MOUS (Word・Excel) 試験対策講習 第5回・第6回

仕事をする上でもっとも使用されているWord (ワープロソフト)・Excel (表計算ソフト) の使用方法をマスターする講習です。また別途申込にてMOUS検定試験も受験できます。

～難関試験に早期から備えよう～

公務員受験特別講習 演習講座

公務員希望者を対象に、採用試験に対するの受験対策講習を開講します。

今回の講習は、地方中級レベルから大卒警察官・大卒消防職員レベルに向けての一般知識・一般知能分野（数的推理・判断推理・資料解釈）対策となります。受講は学年を問いません。

教員受験特別講習 第2回

教員希望者を対象に、採用試験に対するの対策講習を開講します。

今回は、最新の出題を解きながら第1回の学習を復習、深化、統合し、併せて出題傾向をさぐります。受講は学年を問いません。

～資格取得講習～

ホームヘルパー2級資格取得講習

介護に関する幅広い技能と知識を習得し、介護を必要とする人に家事全般や食事などの介助を行う「ホームヘルパー（2級）」の資格取得講習です。

受講する為には、事前の説明会に出席しなければなりません。

秘書技能検定試験対応ビジネスマナー講習（2級） 第3回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
11月	19日・26日	17:50～19:30 但し、(土)のみ	70	3,000	学内書店にて購入	11月4日(火) ～14日(金) 17:00まで
12月	1日・3日・8日・10日 15日・17日					
1月	10日・14日・31日					

TOEIC レベルアップ 第3回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	10日・12日・13日 17日・19日・20日 24日・26日・27日	10:00～12:00	20	15,000	学内書店にて購入	1月8日(休) ～15日(休) 17:00まで
	2日・4日・5日・9日					
3月	11日・12日・16日 17日					

MOUS 試験対策講習

第5回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	9日～13日	10:00～15:40	30	5,000	学内書店にて購入	1月8日(休) ～15日(休) 17:00まで
	16日～20日					

第6回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	23日～27日	10:00～15:40	30	5,000	学内書店にて購入	1月8日(休) ～15日(休) 17:00まで
3月	1日～4日					

公務員受験特別講習 演習講座

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
3月	1日～5日	10:30～16:00	50	4,000	2,600円 当日会場にて販売	1月8日(休) ～15日(休) 17:00まで

教員受験特別講習 第2回 教職教養科目対策

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	9日・13日・16日 18日・20日・23日 25日・27日	14:30～16:00	50	4,000	500円	1月8日(休) ～15日(休) 17:00まで
	1日・2日・8日・10日 12日・15日・16日 19日・22日・23日 24日・26日					
3月						

ホームヘルパー2級資格取得講習 第2回

日程		時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月	23日～27日	9:00～16:30	40	50,000	受講料を含む	12月中旬に実施する説明会に出席した者のみ受付をします。詳細は掲示等で確認のこと。
3月	1日～3日 他 施設実習4日間					

## 学生相談室から



以前、友人が雑誌に取り上げられたフリーダ・カーロという女流画家の絵を見せてくれた。作品は小さくしか載っていなかったのだが、どの絵も一度見ただけで強く印象づけられるものばかりであった。そして最近、映画で彼女の半生がとりあげられ、彼女の絵を含む美術展も開催されている。フリーダの作品は美術史的にはシュールレアリズムに分類されるのだが、どれもファンタジックとはほど遠い、痛々しく、生々しいものばかりである。フリーダ自身、私は決して夢は描かなかった。私は自分自身の現実だけを描いている（『フリーダ・カーロ 引き裂かれた自画像』堀尾真紀子著）と言っているように、彼女の絵は心の中から出てきたものばかりである。それはある時は苦しさ、痛みであり、ある時は喜び、感謝の気持ちである。そして彼女は心の中のものに絵にすることによって、自身と対峙することができたのかもしれない。こうしてみると、カウンセリングという場でも同じことが行われているの

## 絵を描くこととカウンセリング

だと思う。カウンセリングで皆さんも心の中のもの話し、それをキャンパスに描かれた絵として、自分自身を見つめ直す場になればと思うのである。

（きくおか ちなつ）

菊岡 千夏

### 学生相談室の開室について

場 所	曜 日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1	谷口奈青理	10時30分～16時00分
		2		
	火曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
		2		
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時30分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1	讓 西賢	10時30分～16時00分
		2	菊岡 千夏	
	金曜日	1	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
		2		



# 谷大エリア散歩

## 第13回 美章堂さん(和紙専門店)

谷大ならではの和綴の卒業論文と卒業研究。谷大生がその表紙を作るための和紙を買いに行くお店が、北大路新町東入北側の和紙専門店・美章堂さんです。奥様の上野恵美子さんにお話を伺いました。



左：お店におられる池田和美さん  
右：上野恵美子さん

お店はいつ頃からですか

ずっと前からこの場所で和紙の卸しをしていたんです。会社にしたのが昭和36年、店に改装して、小売りもするようになったのはその20年後、昭和55年くらいからだと思います。

谷大生が表紙用の和紙を買いに来るようになったのはその当時からですか

いえ、もう少し経ってから...昭和50年代になってからだったと思うのですが。

学生が買いに来るのは主に何月頃ですか

早い人は10月頃から来られますよ。それから12月いっぱいにかけて、学生さんがたくさん来られます。1月10日頃が提出日だそうですから、それまでに作る時間も要りますし。お友達と連れ立って、1日に次々と来られるので、それは賑やかですよ。店が小さいので、5～6人も入るといっぱいになってしまっていて、外で待っていただくこともあります。学生さんがたくさん来られると楽しくて、こちらも若返りのような気がします。

人気のある柄や色はありますか  
それはもう個人によっていろいろです。まったくの好き好きですね。どちらかというとな女子学生さんはカラフルなもの、男子学生さんは紺系統が多いかもしれませんが、中には真っ赤な紙を選ぶ男子もいますよね。

友達同士で来ても全部別々で、人と違うものを選びようとされますね。よく「これ、もう誰か買わった?」と聞かれます。前に売っていたものだったら、違う柄を選んでいけますよ。あれでもない、これでもないを選ぶのが楽しいみたいですね。迷いに迷って、1時間くらい考えている人もいますね。

皆さん、自分の論文のテーマに少しでも合った柄を見つけようと苦心されるようです。例えば中国に関する事を書かれた人は、中国風の柄を探しておられましたし。一度、珍しい紅型の和紙を気に入って買っていかれた人がありました。「高いのに構わないの?」と心配しましたが、無事に失敗なく作られたようですね。毎年何人かは「失敗したからもう1枚ちょうだい」と買い直しに来られるんです。

出来上がった卒論をご覧になったことは

ええ。「こんなんできたよ」と見せに来てくれる子もいるんです。うれしいですね。それに「結婚したら来るわ」と言って、本当に訪ねてきてくれる人もいます。

和紙はどのようにして作られるのですか

和紙は1つの柄毎に木型をおこして刷るんです。1色使うごとに1枚ずつ別の木型が要るので、1枚の和紙を作るのに4～7枚の木型を彫らないといけないんです。木型を彫るのは専門の型屋さんで、

刷るのはまた別に専門の染屋さんが刷ります。和紙1枚作るのにも大変な手間がかかっているんです。うちはオリジナルの型をたくさん持っていて、時々新しい柄も作っています。

昔、その木型を預けていた家が火事あって、うちの型も全部燃えてしまったことがありました。大変な目に遭いましたが、残っていた紙からまた型をおこしてもらい、全部作り直しました。



卒論を和綴にしている大学は珍しいのでは

そう思います。他にはあまりないでしょう。立命館でも一時期やっていたようですが、今はないですね。お経の本は和綴ですし、大谷大学はお寺の大学なので、和綴ということに重きを置いておられるのかなと思います。

卒論という、自分の人生の中でも大切なものを、自分で製本したとなれば一層大切に感じられ、いい思い出、記念になるでしょうね。



美しい和紙が並ぶ店内

ありがとうございました



## 出版物紹介

『七高僧ものがたり - 仏陀から親鸞へ - 』  
兵藤一夫 大内文雄  
ロバート・F・ローズ  
佐々木令信 共著  
東本願寺出版部 刊(2003.7)110頁

『臨床教育学の生成』  
皇 紀夫 編著  
玉川大学出版部 刊(2003.6)261頁

*BUDDHAS AND KAMI IN  
JAPAN -Honji suijaku as a  
combinatory Paradigm-*  
Mark Teeuwen and  
Fabio Rambelli 編  
井上尚実 分担執筆  
Routledge Curzon (Taylor &  
Francis Group) 刊(2003)371頁

『チベット密教 図説マンダラ瞑想法』  
白館戒雲(ツルティム・ケサン)  
正木 晃 共著  
ピング・ネット・プレス 刊(2003.8)333頁

『ツォンカパ 中観哲学の研究』  
白館戒雲 藤仲孝司 共訳  
文栄堂 刊(2003.7)582頁

『ジョルジュ・サンドの世界  
- 生誕二百年記念出版 - 』  
吉田 綾 分担執筆  
第三書房 刊(2003.6)422頁

### 「大谷大学広報03 - 冬」発行のお知らせ

「大谷大学広報03 - 冬」の発行を1月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

博綜館ピロティエー(博綜館入口横) 学内食堂 各研究室 至誠館(学生課カウンター前) 1号館1階 2号館1階

## お詫び

前号の『大谷大学広報秋号』の中で誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

P.17 Keiji Ban 総務課(安居の開講の枠囲みの中の文章)

(誤)\*安居(あんご)とは、梵語(ぼんご)VarsaまたはVasikaの訳語で「雨期」の意。

(正)\*安居(あんご)とは、梵語(ぼんご)VarsaまたはVarsikaの訳語で「雨期」の意。

P.31 九州大谷短期大学からのお知らせ

(誤)お問合せ 九州大谷大学 演劇放送コース

(正)お問合せ 九州大谷短期大学 演劇放送コース

P.32 学会だより

(誤)真宗学会大会 開催日 10月9日(木) 講演 マーク・ブラウン氏

(正)真宗学会大会 開催日 10月9日(木) 講演 マーク・ブラム氏

# 研究室だより

## 総合研究室から

11月、12月の研究室の開室は以下のとおりです。宗教行事、学園祭等により変則的な開室日もあるので、注意してください。2004年は1月8日から開室します。

なお、開室日や開室時間の変更は、学生向け情報提供システム、学内掲示板に掲載します。確認してください。

11月						
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

濃い黄色は、響流館の休館日

黒字は、9時開室 19時30分閉室

薄い黄色は、10時開室 17時30分閉室

- 1 学園祭期間中(11月6日 10日)は、日曜日を除き、土曜日扱いの開室(10時 17時30分)とします。ただし、11月6日は前夜祭のため、15時に閉室します。
- 2 11月27日は大学報恩講のため、13時開室(17時30分閉室)。

12月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 幼児教育科研究室から

幼児教育科

○幼児教育科2回生は「卒業研究」を2部作成し、1部は教務部に、もう1部(コピー可)は一般研究室に提出してください。提出締切は、12月1日〔月〕午後4時です。【厳守】

○今年度2回生が提出した「卒業研究」の発表会を1月中旬に開催します。詳細は2号館1階の掲示板に掲載しますので、確認してください。

○ 幼教フェスティバル2003を12月20日〔土〕に開催します。

学生自身による手づくりの発表会です。詳細は後日幼児教育科の掲示板でご確認ください。

○現在、一般研究室の図書を借りている方は、1月14日〔水〕までに返却してください。

# 学会だより

## 仏教学会公開講演会

日時 12月2日(火) 16:10から  
講師 立川 武蔵氏  
(国立民族学博物館教授)  
場所 メディアホール  
(響流館4階)  
講題 未定

詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

## 哲学会

12月に研究談話会を開催します。詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

## 西洋哲学・倫理学会秋季公開講演会

日時 12月18日(木) 16:10から  
講師 伊藤 徹氏  
(京都教育大学助教授)  
講題 未定

詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

## 教育学会公開講演会

日時 11月19日(水) 16:10から  
講師 正高 信男氏  
(京都大学霊長類研究所教授)  
講題 未定

詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

## 社会学会公開講演会

日時 11月13日(木) 13:00から  
講師 田辺 繁治氏  
(国立民族学博物館教授)  
場所 メディアホール  
(響流館3階)  
講題 未定

詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

## 大谷中学校・大谷高等学校からのお知らせ

『今熊野セミナー』について

『今熊野セミナー』は、大谷中学・高等学校長の講演を基に、参加頂いた方々と共に話し合いながら進める講座です。大谷中学生・高校生の保護者の方々、近隣の地域にお住まいの方々、そして一般の方々に対して開かれた講座です。二学期からの講座の予定は、以下のようになっています。

- 第3回 2003年10月3日(金)  
午後2時～3時30分  
講題 「Do you like "you"?」(「あなたは自分が好きですか?」)
- 第4回 2003年12月5日(金)  
午後2時～3時30分  
講題 「ともに生きるということ」
- 第5回 2004年2月19日(木)  
午後2時～3時30分  
講題 「願に生きる」

詳しくは、大谷中学・高等学校渉外部まで、お問い合わせ下さい。(075-541-1317)

2004年度 大谷中学・高等学校生徒募集要項  
大谷中学校(共学)

募集人員	120名
出願期日	2004年 1月13日(火)
(S1・A・S2は同時出願可)	1月16日(金)
入試日	S1入試 1月31日(土)
	国語・算数と面接
	A入試 2月3日(火)
	国語・算数・理科・社会
S2入試	2月4日(水)
	国語・算数と作文

大谷高等学校(共学)

募集人員	300名
出願期日	2004年 1月27日(火)
	1月30日(金)
入試日	2004年 2月10日(火)

大谷高等学校 知進寮生徒募集(男子のみ)

募集人員	約6名
出願期日	2004年 1月6日(火)
	1月9日(金)
入試日	2004年 1月18日(日)

## 九州大谷短期大学からのお知らせ

2004年度入学者用の入学試験要

項は以下の通りです。

### 1. 募集学科・定員

〔全学科 男女共学〕

日本語コミュニケーション学科  
(情報司書コース/  
演劇放送コース)  
80名

幼児教育学科  
(幼児教育コース/  
児童福祉・心理コース)  
100名

福祉学科 50名  
仏教学科 10名

### 2. 入試日程

[入試日程]

入試日程	出願期間	試験日・会場	合格発表
公募推薦 社会人 (1次募集)	10月27日(月) 11月7日(金)	11月13日(木) 本学 11月12日(水) 北九州・佐世保 大分・鹿児島	11月20日(木)
一般入試A 社会人 (2次募集)	1月9日(金) 1月30日(金)	2月7日(土) 本学	2月13日(金)
一般入試B 社会人 (3次募集)	3月1日(月) 3月12日(金)	3月13日(土) 本学	3月17日(水)
一般入試C 社会人 (4次募集)	3月15日(月) 3月26日(金)	3月29日(月) 本学 但し、幼児教育学科は募集しない	3月30日(火)

[入試科目]

公募推薦	一般入試	全学科	作文	面接
社会人入試		全学科	面接	

### ----- 保育士資格取得者対象 -----

#### 1. 募集学科・定員〔男女共学〕

専攻科・福祉専攻 30名

#### 2. 入試科目 作文 面接

	出願期間	選考日	選考会場・日程	合格発表
第2次募集	2004年1月9日(金) ～1月30日(金)<必着>	2月7日(土)	選考会場/本学 作文 9:00～10:00 面接 10:10～	2/13(金)
第3次募集	2004年3月1日(月) ～3月12日(金)<必着>	3月13日(土)		3/17(水)

詳しくは九州大谷短期大学広報室(TEL 0942-53-9900)へ、お問い合わせ下さい。

バンザイ、バンザイ、バンザイ。

優勝が決まった日の夜遅く、「先生、優勝して本当によかったなあ。もううれしゅうて、うれしゅうて、じっとできんようになっちゃってかけまくってんね。」と、卒業生からの電話。少し涙声である。そして、テレビを見ていると、年配の人二人ほどが、「もういつ死んでもいいです」とインタビューに答えていた。

この私もまた、阪神の勝ち負けが、自分の人生の幸不幸を左右するかのように感じて狂っていた時期もあった。もう何年も

昔のことだが、父が病に倒れ、武庫川の病院に入院していたころ、廊下の窓から甲子園のナイターの明かりが目に入ると、もうたまらなくなって誰かが顔を出せば、ちょっとでいいから父を見といてくれとあって、タクシーで往復したこともあった。そんなことさえ思い出す。

思えば不思議なことである。なんで阪神タイガースというチームは、こんなにも人を愚かにするのであるのか。

長嶋茂雄は、引退するとき、今はもう存在しない後樂園のマウンドの上で、独りスポットラ

イトをあびて、「我が巨人軍は永久に不滅です。」と宣言した。確かに人は、浮いたり沈んだりする人生にあって、永遠に変わらないものを求める。そしてまた、勝ち続けるヒーローの自分自身を夢見るものだ。しかし、この世に在るものは、あるとき生まれ、あるとき滅びる相対有限なものだ。だから、滅びることのないものは、存在しない。その道理を無視して、永久であろうとするとところに人間の悪魔的な意志がある。その意志が、自分中心の世界を手に入れようとして、世界を破滅に導くので

## 話題の広場 SQUARE

# 阪神タイガースの優勝が もたらしてほしいもの

中川 皓三郎



ある。それはまた、勝ち負けの世界でも同じことである。常勝などということも、もしも夢見るなら、それは死者の世界であろう。それこそ独りよがりというものである。

その点、阪神というチームは、健康な存在かもしれない。なぜなら、見事に我々を悪しき夢から目覚めさせてくれるからである。どれほど我を忘れて勝ち続けることを夢見ても、必ず、ものには限界があるという現実に戻れる。しかも、ときどき強い阪神が現れて、ひょっとしてと思わせるからいよいよ心憎い。しかし、最後はやっぱりだめだったかということになる。

さて、今年優勝できたのは、星野監督の力だと思う。「勝ち

たいんや！」という言葉が、雄弁に物語っているように、選手に単純にして明快な目標を意識させ、その目標を達成するには、何をしなければならぬかを徹底させたこと、それに尽きると思う。私は、そのように考えている。

それにしても、異常とも感ずるほどの、この盛り上がりようは、いったい何なんだろう。

優勝が決まった、9月15日の道頓堀境界の様子をテレビで見ていると、何か切ないものを感じたのは私だけだろうか。次々と道頓堀川に飛び込む若者たちに無邪気さを感じることが出来なかった。閉塞感が社会全体を覆っている現代の日本にあって、生きるための明確な目標を見いだすことの出来ない、若者たち

の悲鳴のようなものを感じたといっているだろう。

阪神の優勝に経済の波及効果を期待するむきもあるが、85年の優勝の後にやってきたバブル景気が何をもたらしたのかをよくよく反省して欲しいと思う。土地の名義をこちらからあちらへと移すだけで、人が一生働いても手に入れることの出来ないお金が動いたのである。あれほど、人間を馬鹿にした話はない。

しかし、そのことには気づかず、私たちの多くは、お金儲けに狂奔したのであった。

改めて今回の阪神の優勝をきっかけに、人間を取り戻す歩みが始まればと思う。

( なかがわ こうざぶろう )  
助教授 真宗学